

補助事業番号 2025M-173  
補助事業名 2025年度 福祉機器の整備 補助事業  
補助事業者名 社会福祉法人名張厚生協会

## 1 補助事業の概要

本事業所は介護を必要とする様々な身体的な状況の方を受け入れます。入浴業務に関しても立ち上がりが困難な方や座位保持が困難な方が利用され、介護職員にとっては身体的、心理的な負担を伴います。

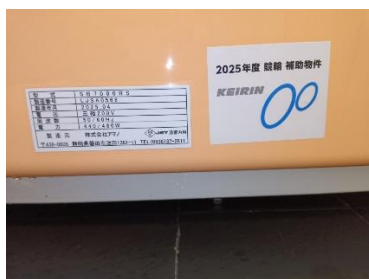
以前使用した特殊浴槽は、購入してから15年が経過し老朽化が進行しておりました。且つメーカー一部品保有期限が終了しており、一部部品は故障が発生した場合、修理不能になっておりましたので、今回貴財団の補助金を活用して更新することになりました。

## 2 本事業により導入した機器

① 特殊浴槽 <https://www.nabari-kosei.or.jp/2025/08/18/5659/>

納品機種：寝位型入浴装置（ダブルアクション浴槽）

SB7000RS	マリンコートリモ過タイプ（本体）	1台
SB7300N	フラット担架	1台
SB7500N	水受け付ストレッチャー	1台



SB7000RS（本体） 製造番号&JKA シール貼付



SB7300N（担架）&SB7500N（ストレッチャー） 製造番号&JKA シール貼付

## B型標識の取付位置



設置場所：【名張特別養護ホーム】

- ② 本事業に係る印刷物等  
なばとく通信機関紙（秋号発行）

### 3 予想される事業実施効果

今回導入した寝台浴槽は、介助者が無理な姿勢での入浴介助にならないよう入浴中浴槽のフチ高が93cmと低く、女性職員が多い当施設でも背伸びや踏み台を使用せず入浴介助が可能です。また、入浴前作業の移乗作業の際も、ストレッチャーの高さ変更が可能な設備を導入することにより、ベッド・車イスと高さをあわせて移乗が可能です。その為、腰痛の原因となる職員の抱え上げる動作が減少し腰痛予防に活躍します。介助者の操作ミス内容を音声アナウンスで知らせる機能が搭載されていることにより入浴事故やヒヤリハットの低減が見込まれます。衛生機能として、自動薬液注入機能があり、入浴者が安心して入浴ができるよう消毒されたお湯で入浴することができる機能が搭載されております。以上により介護職員の省力化や入居者が安心して入浴が出来るよう、介助者の負担軽減、安全・衛生管理が予測されます。

### 4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人 名張厚生協会

(シャカイフクシホウジン ナバリコウセイキョウカイ)

住 所： 〒518-0721

三重県名張市朝日町1357番地の1

E - m a i l： info@n-kosei.jp

U R L： <https://www.nabari-kosei.or.jp/>